

MDM移行 チェックリスト

Macの管理ほど、ビジネスやセキュリティ業務に重大な影響を及ぼす作業はめったにありません。モバイルデバイス管理 (MDM) ソリューションは社用Macデバイスをすべて管理するものです。そのため新ソリューションに移行する場合、従業員の生産性への影響を最小限に抑えるには、IT部門でスイッチを切り替えるように移行するだけでは不十分です。

Mac向けMDMソリューションは業務の土台に深く根付いていることから、IT部門でソリューションの移行を検討する際には、ビジネス目標に即してビジネスの継続性を維持するために移行前、移行中、移行後のすべてにわたってあらゆる可能性を考慮することが重要です。

以下ではMac向けMDMソリューションの移行プロセスを主要な3段階に分け、IT部門で移行プロジェクトの計画、実行、成果のレビューを行う際のヒントを紹介します。

1. 計画 (移行前)

リスク評価の結果やインベントリの最新状況などの重要な情報を収集して、移行の目標を明確化し、データに基づいて移行を判断します。また、移行の進捗状況を測定するための主要業績評価指標 (KPI) も策定します。

2. 実行 (移行中)

前段階で収集したデータを活かし、移行元のMDMソリューションから移行先のソリューションへの移行を進めます。この段階はライフサイクルそのもので、進捗を継続的に監視しながら、必要な各種コンポーネントやワークフロー、戦略をまとめて管理対象デバイスの再登録を行います。

3. レビュー (移行後)

IT部門で移行プロジェクトの前2段階を通して分析し、きめ細かに状況を可視化します。プロジェクト全体を通じて進捗、パフォーマンス、コンプライアンスの測定結果を収集し、KPIと比較することで、移行に成功した部分と、移行過程で懸念が残っている箇所を確認できます。

移行前

- MDMインフラの棚卸し
- リスク評価を実施する
- コンプライアンス面のニーズを特定する
- 目標とKPIを設定する
- データバックアップ戦略を策定する
- 移行作業手順を策定する
- 綿密なテストを実施する
- ドキュメント化し反復的に改善する
- 導入後の問題対応計画を策定する
- ユーザへの情報提供とトレーニングを行う

移行中

- 本番環境の新しいMDMソリューションを設定する
- パイロットプログラムで移行を検証する
- データバックアップを実行する (必要な場合)
- 管理対象デバイスの移行を準備する
- 移行元のMDMで管理対象デバイスの登録を解除する
- 移行先MDMにデバイスを登録する
- プロジェクトの進捗を監視する
- デバイスインベントリを収集し確認する
- デバイスのコンプライアンスを確保する
- バックアップデータを復元する

移行後

- 移行したデバイスの登録状態を検証する
- パフォーマンスを継続的に監視する
- コンプライアンスポリシーを更新する (必要な場合)
- 関係者からフィードバックを収集する
- 未解決の問題/懸念事項を解決する
- 移行元のMDMとツールをクリーンアップする
- 移行元のMDMソリューションを廃止する
- ROI/TCO指標を測定する
- 得られた教訓をドキュメント化する
- アップデートを反復実行する

MDMの移行を成功させるうえで重要な検討事項

MDMソリューションの移行を成功させる要因は、データの保護と業務中断の最小化です。どちらの要因も、組織の安全と生産性を確保する手本となります。MDM移行の3段階すべてで、組織にリスクが生じるおそれがあります。特に発生する可能性が高いリスクとしては、デバイスのコンプライアンス違反、データが悪意ある脅威に無防備な状態の放置、ユーザの生産性低下がありますが、以下のポイントに留意すれば最小限に抑えられます。

- 移行の計画を立ててテストし、リスクを大幅に抑制してダウンタイムを削減する
- 関係者およびエンドユーザと定期的に情報を交換し、移行を円滑化する
- すべての段階でセキュリティを最優先に位置づけ、プロジェクト全体でコンプライアンスを維持する
- すべての所見をドキュメント化して、データに基づいた意思決定を可能にする
- 教訓と関係者からのフィードバックを通じてプロセスを改善する

まとめ

MDMの移行を成功させるには、セキュリティの強化、作業効率の向上、長期的な拡張性を実現できるように戦略的な計画を立て、円滑に移行を実行し、綿密なレビューを行うことが不可欠です。MDMの移行は単なるコスト削減活動ではなく、生産性を高め、コンプライアンスを強化し、組織の長期的な成長を促進する重要な機会なのです。

MDMの移行における一般的な課題にご注意ください。[Jamf MDM移行チェックリスト](#)で紹介する3段階に分けて移行戦略を策定して、障害を乗り越え、成功をつかみ、円滑なビジネス運営を維持しましょう。